

【経営ニュース】

中小企業の労使交渉回答 アップ率昨年並み

日本経済団体連合会はこのほど、「2008年春季労使交渉・中小企業業種別回答一覧(了承・妥協含/加重平均)」を公表した。調査対象は原則として従業員数500人未満、17業種761社。そのうち429社(56.4%)が回答。

製造業で最も多かった業種は、【その他製造業】で5,380円(1.83%増)、次に【機械金属】4,940円(1.86%増)、【化学】4,878円(1.79%)と続く。逆に低い業種は、【窯業】の2,884円(1.17%)で昨年のアップ率1.41からさらにダウンとなった。次が【繊維】4,016円(1.59%)であるが、アップ率は昨年の1.33から上がってきている。製造業の平均を見ると、4,658円(1.78%)となっている。

また、非製造業では、最も高かった業種は【ガス・電気】の5,309円で1.89%のアップ率であった。続いて商業の4,008円1.63%アップ。また、低い業種は【運輸・通信】の1,324円(0.62%)、続いて【その他非製造業】で2,111円0.93%アップであった。非製造業の平均は、3,237円1.36%。総平均では4,236円で、1.66%のアップ率となっている。

上記回答・妥協案は、定期昇給(賃金体系維持分)等を含むもの。
